

ロバート キャンベルさん講演会 日本古典と感染症

2020年
10月2日(金)
■場所 TOYAMAキラリ 9Fキラリホール
■対象 一般
■定員 100名(申込先着順)
■時間 18:00~19:00



江戸時代の生活はいつも病と隣り合わせであった。人口世界一と言われる19世紀前半の江戸では、文字通り障子一枚、一枚の座布団という「隣り合わせ」が生活様式の基本であった。麻疹や天然痘、コレラなどの感染症が街を襲うと、ネットもテレビもないのに人々はその流行を察知し、俊敏に行動を変容させた。まさきに劇場も、そして「夜の街」も客が引き、閑散とする。いつも飛び回っている表現者はなす術もなく、ひたすら守り合い、波が去るのを待っていた。古典を紐解くと、200年前の日本人が驚くほど今と同じ状況に直面していたことがよく分かる。

講演では、日本の古典に刻まれた人々の行動と心を探求し、ウィズコロナ時代に生きる私たちへのヒントを浮き彫りにしたいと願っている。

やまだ よしお 山田孝雄文庫 セミナー

2020年
10月3日(土)

参加無料
要申込

■場所 富山市立図書館本館 (TOYAMAキラリ) 3Fセミナールーム
■対象 一般
■定員 40名(申込先着順)
■時間 14:00~16:00

古典の重み

古典にはどう接するべきなのか。役に立つことばかりが求められ、ちょっと窮屈な現代において、もっと豊かに、もっと深く、何より楽しく前向きに生きられたら、どんなにか素晴らしいことだろう。古典の持つ〈ちから〉を「古典籍」に寄り添いつつ、皆さんとともに考えてみたい。



かんさく けんいち
神作 研一さん
国文学研究資料館
教授・副館長
総合研究大学院大学教授

山田孝雄と平安文学

山田孝雄は国語学の泰斗として著名だが、国文学や歴史学の分野へも広く関心を向けていた。中でも平安文学との関わりは、谷崎潤一郎訳『源氏物語』の校閲者という一面によって知られる。山田が平安文学に寄せていた視線はどのようなものだったのか、山田孝雄文庫の資料とともに考える。



おかだ たかのり
岡田 貴憲さん
国文学研究資料館助教

富山藩の連歌 — 山田孝雄文庫所蔵本を中心に —

山田孝雄の父・方雄は、幕末期に富山藩で行われた連歌のメンバー(連衆)の一人であった。そのため、山田孝雄は父から連歌の知識を授かり、自ら連歌をするだけでなく、連歌の資料を収集し研究書も著した。山田孝雄文庫には、伝来の連歌資料と孝雄が収集した資料が所蔵される。今回は、そのうち富山藩関係の連歌資料についてお話ししたい。



わたぬき とよあき
綿抜 豊昭さん
筑波大学図書館情報
メディア系教授

申込み方法

- 受付期間：令和2年9月14日(月)~9月25日(金)
- 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。ご了承ください。

窓口

申込書に必要事項を記入し、本館の窓口へ提出してください。

電話

☎電話番号：076-461-3200

「ロバート キャンベルさん講演会申込」または「山田孝雄文庫セミナー申込」とお申し出ください。必要事項(氏名、電話番号、ご希望)をお聞きます。

FAX

☎FAX番号：076-461-3310

申込書に必要事項を記入し、上記のFAX番号に送信してください。
※開館時間(9:30)から受付します。

ホームページ

図書館ホームページの参加申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

※受付したら図書館からメールを返信します。次のアドレスを受信できるよう設定してください。lib-09@library.toyama.toyama.jp
※5日以内に返信が届かない場合は、上記電話番号までご連絡ください。

富山市立図書館
ホームページ



<https://www.library.toyama.toyama.jp/>

富山市立図書館

検索



QRコード

お願い

- ご記入いただいた個人情報、当行事運営のために使用します。
※ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、濃厚接触者等の把握が急がれる場合、保健所等の公的機関に情報提供をする場合があります。

キリトリ

申込用紙

- 「ロバート キャンベルさん講演会」
- 「山田孝雄文庫セミナー」

(ふりがな)
氏名：

電話番号：

ご参加を希望される箇所にチェック☑をつけてください。

ロバート キャンベルさん講演会	☐ 参加を希望する
山田孝雄文庫セミナー	☐ 参加を希望する